

令和3年度 食育推進事業実施状況（令和4年3月末現在）  
《基本目標》食べる力をみんなでアップ！ ～みんなでおいしく楽しく食べよう～

参考資料

推進団体	ページ数
一般社団法人仙台市医師会	1
一般社団法人仙台歯科医師会	2
公益社団法人宮城県栄養士会	4
仙台市小学校長会	6
仙台市私立幼稚園連合会	7
仙台市保育所連合会	8
仙台市PTA協議会	9
宮城県生活協同組合連合会	10
みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）	15
仙台農業協同組合	17
仙台白百合女子大学	18
宮城大学	19
仙台市市民局	20
仙台市子供未来局	21
仙台市環境局	25
仙台市経済局	26
仙台市教育局	28
仙台市健康福祉局・各区保健福祉センター，総合支所	30



推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市立学校健診 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後、児童・生徒及び保護者に対して、校医、専門医による食の改善、運動等事後指導を実施する。また、円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図る。	糖尿病精密検査 6/22～6/25 生活習慣病検査 10/18～10/21 貧血検査 8/30～10/15	糖尿病精密検査実績 33名 生活習慣病検査実績 233名 貧血検査実績 833名	仙台市医師会

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギーへの対応事業	保育士、栄養士、教諭等	・食物アレルギー対応の手引き（改訂版）を活用し、指導・助言を行う。	通年		仙台市医師会

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊婦健診事業	妊婦健診受診者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊娠期間中の食事指導などを行う。また、支援が必要な妊婦については行政と連携し積極的に指導する。	通年	妊婦健診実績 延べ 82,451名	仙台市医師会
2	産婦健診事業	産婦健診受診者	・産婦健診の中で貧血や妊娠高血圧症、妊娠糖尿病などの産婦に直後の食事指導などを行う。また、支援が必要な産婦については、行政を連携し積極的に指導する。	通年	産婦健診実績 延べ 12,383名	仙台市医師会
3	乳幼児健診事業	乳幼児健診受診者	・乳児健診（2か月、4～5か月、8～9か月）、1歳6か月児、3歳児健診において、乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施する。	通年	乳児健診実績 21,784名 1,6、3歳児健診実績 1,6歳→7,602名 3歳 →8,036名	仙台市医師会

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定健診・特定保健指導事業	一般市民	・特定健診、基礎健診における問診や結果に応じて、生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定（身体活動量・食事バランス）し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、引き続き登録医療機関で指導する。また、検査項目の一つ血清尿酸は、動脈硬化・脳卒中・心臓病・腎臓病の危険因子であり、肥満との関連性もあることから、各種疾病の早期発見・早期治療に引き続き努めたい。	令和3年6月～令和4年3月	特定健診実績 62,212名 *市国保 基礎健診実績 41,413名  動機づけ支援実績 464名（見込）	仙台市医師会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民向け冊子の配布	一般市民	・冊子名：スマイル（食の大切さや、より良い食事に関する啓発）	通年	諸事情により発行できず	仙台歯科医師会
2	歯と口の健康週間市民のつどいWEB開催【新規】	一般市民	・歯科医師会と各関係団体が連携して実施 ・コロナ禍でのニューノーマルを考慮してWEB開催 ・むし歯・歯周病予防のための生活習慣 ・健康長寿のための食生活とお口の働き ・市内小中学校での取り組みの紹介 など	6月4日（金）から10月30日（火）までサイトの公開 <a href="https://s-da.or.jp/shimin-tudo">https://s-da.or.jp/shimin-tudo</a>	計画通り実施した	市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、他）

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校・幼稚園・保育所での講話	児童・職員	・歯科校医、園医、嘱託医による講話などでの食事指導	通年	例年通り	仙台歯科医師会 子供未来局 教育局
2	支援学校での摂食指導	児童・保護者・職員	・鶴谷特別支援学校、県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	通年で3回を予定	5/27, 7/1, 11/11教職員・保護者へ講話を実施	仙台歯科医師会 教育局
3	仙台市PTAフェスティバルへの参加	児童・保護者	・健康的な食生活について啓発	未定	R3年11月6日～12月12日 WEB開催 閲覧総数 25,912名	仙台歯科医師会 東北大学 健康福祉局
4	3歳児カリエスフリー85プロジェクト	乳幼児	乳幼児期からの正しい食習慣の確立への啓発	通年	フッ化物歯面塗布助成事業へ発展	仙台歯科医師会 健康福祉局 子供未来局

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます						
具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	口腔機能低下症に関する学術講演	歯科医師及び関連職種	・オーラルフレイルに対応する「口腔機能低下症」に対する学術講演	未定	開催見送り	仙台歯科医師会
取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間市民のつどいWEB開催【新規】 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と各関係団体が連携して実施 ・コロナ禍でのニューノーマルを考慮してWEB開催 ・むし歯・歯周病予防のための生活習慣 ・健康長寿のための食生活とお口の働き ・市内小中学校での取り組みの紹介 など	6月4日（金）から10月30日（火）までサイトの公開 <a href="https://s-da.or.jp/shimin-tudo">https://s-da.or.jp/shimin-tudo</a>		市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、他）
取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます						
具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口腔の健康づくり教室	園児	・若林区保健福祉センターと若林地区の仙台歯科医師会会員が連携して、「歯と口の健康づくり教室」の実施。	新型コロナウイルス感染症の状況をみながら開催を検討する	開催見送り	仙台歯科医師会
2	地域住民への啓発活動	一般市民	・各区民まつり等での食に対する啓発	新型コロナウイルス感染症の状況をみながら開催を検討する	開催見送り	仙台歯科医師会
3	むし歯予防と生活習慣についてのDVD配布【新規】	園児・児童とその親	NPOSENDAI子育て応援隊ピンポンパン☆が演じるむし歯予防と生活習慣の人形劇を撮影編集しDVDを作成しむし歯予防絵画作品展参加の市内保育所幼稚園・児童館・保健センターに配布する。	DVD500枚を作成し配布	仙台市内保育所幼稚園・児童館・保健センター等に460枚配布	仙台市歯科医師会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施する市民のつどいにて、食の大切さについて啓発（「シニア必見！フレイルとは」のページで、フレイル予防のために食事について動画を公開）	6月Web開催		市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、他）

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施する市民のつどいにて、食の大切さについて啓発（「シニア必見！フレイルとは」のページで、フレイル予防のために食事について動画を公開）	6月4日web開催 「フレイル予防と栄養」動画 配信		市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、他）
2	いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係団体と連携し、最新の健康・栄養情報を食事診断、健康・栄養相談、栄養講話等、実際の体験を通じて普及啓発 ・生活習慣病予防、フレイル予防のリーフレットを県民・市民に配布	8月	仙台市各区役所・総合支所に リーフレット2種類150枚ずつ 配布	宮城県栄養士会
4	健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を、調理実習も加えて普及・啓発する。 第1回「時間栄養学で食生活を見直しませんか！～1日3食「いつ」食べる？「どう」食べる？～」	新型コロナウイルス感染症の 拡大防止のため中止		宮城県栄養士会
5	仙台市介護予防月間	一般市民	元気カアップフェスティバル	11月	個別栄養相談 45名	シルバーセンター 宮城県栄養士会
6	栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	フレイル予防のための栄養について	2回		宮城県栄養士会
7	マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談（げんき倶楽部「杜人」の質問回答など）や、食の情報提供など	通年		宮城県栄養士会
8	宮城県ケアフェスタ	一般市民	宮城県ケアフェスタ	11月		宮城県栄養士会 宮城県
9	県民健康づくり公開講座	一般市民	・日常生活におけるナトリウムについての試み 県民市民に対する健康に関するリーフレットの配布	8月		宮城県栄養士会

令和3年度 食育推進事業実施状況（令和4年3月末現在）

（公社）宮城県栄養士会

10	食材王国みやぎ伝え人	児童とその親	・身近な食材を使用した子供でも作れるメニューでの調理実習	未定	中止	宮城県栄養士会
11	リビングスマートシニアフェスタ2021秋	一般市民	・シニアの生き生きと暮らすためのヒントの情報提供、健康相談	未定	中止	宮城県栄養士会 仙台リビング新聞社
12	子育て応援団すこやか2021	一般市民	・ミヤテレ主催 食育に関する案件 離乳食・幼児食相談、ゲーム、塗り絵など	10月	中止	宮城県栄養士会 ミヤギテレビ
13	みやぎサテライトステーション	一般市民	・健康相談	通年		宮城県栄養士会
14	被災者支援事業	仙台市若林区荒町	・被災地域での健康相談	通年	中止	宮城県栄養士会
15	福祉に関する研修会	一般市民	・経口移行に関する管理栄養士の役割、要介護高齢施設における嚥下調整食について	未定	中止	宮城県栄養士会
16	地域包括ケアシステム協働プロジェクト	一般市民	・はればれ健康フェスタへの参加	オンラインで参加	フレイル予防の栄養	柔道整復師会 宮城県栄養士会
具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	いい日いい汗栄養まつり《①-F-1 再掲》	一般市民（県民）	・宮城県栄養士会全会員から公募し、生活習慣病予防、フレイル予防のリーフレットを作成、各区役所や関係施設等に配布し、健康増進の一環とする	8月中 各区役所、施設に配布	県内全自治体に配布	宮城県栄養士会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-4 学校での様々な活動において『食に関する指導』を充実させます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の作成及び見直し	小・中学生	・「食に関する指導の手引き」の改訂に伴い、「食に関する指導の全体計画」及び「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の見直しを図り、各教科や特別活動及び学校の教育活動全体を通して食育を展開する。 ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための教育活動を工夫し、実践する。	通年 各学校において適宜指導を振り返し、改訂を踏まえた指導計画の見直しを図る。 教育活動全体での食育推進を目指す。		小・中学校 教育局
2	給食の時間における食に関する指導の充実	小・中学生	・給食時間をはじめ、食に関連する教科・諸行事等において、学年学級の実態に応じて、各学年学級担任を中心に、栄養教諭・学校栄養職員の参画にて食に関する指導を行う。 ・「食育の日」、「食育月間」の普及・啓発を行う。 ・宮城、仙台産などの地元の農産物や郷土食を活用した給食で、食育を推進する。	通年 指導計画を基に、児童・生徒の実態に応じた食育を推進する。		小・中学校 教育局
3	「給食週間」	小・中学生	・児童、生徒を中心に内容を工夫して、給食に感謝する催しを開催する。	1月 児童・生徒の主体性を大切に各学校の特色を生かして行う。		小・中学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表や給食だよりによる啓発	小・中学生と保護者	・献立表や給食だよりなどを通じた食育活動の周知をする。 ・食物アレルギーへの対応（個別面談等含）について周知し、個別に詳細献立表を家庭に配布する。	個別面談：年度初めに実施 献立表等：月ごとに実施、詳細献立表（アレルギー対応）配布		小・中学校 教育局
2	「望ましい食習慣形成」の呼びかけ	小・中学生と保護者	・保護者懇談会や給食試食会、PTA行事などを利用して、望ましい食習慣の形成、食を通じたコミュニケーションの促進を図る。	通年 養護教諭と共に健康教育の一環として実施		小・中学校 仙台市PTA協議会 教育局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取り組みとして、研究主題「食を大切にする心をはぐくみ、健全な心身を培う食育の推進」を掲げ、実践研究を行う。	通年 仙台市を7つの地区に分け、それぞれがテーマを設けて実践する。	新型コロナウイルス感染予防対策のため、活動を休止。	小学校 （仙台市小学校教育研究会学校給食部会）
2	学校給食の充実・発展のための研修	栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中の、栄養教諭・学校栄養職員部会において、講演会や調理実習、施設見学などの研修を行い、資質向上をはかる。	通年 年間の研修計画を立て、定期的に研修会を開催する。	新型コロナウイルス感染予防対策のため、地区毎に一部をオンラインや書面等で開催。	小・中学校 （仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会）



推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食べる事が楽しくなる食育	園児	・オクラの栽培を通して、野菜が育つ過程を知り、興味や関心を深める。	令和3年5月～7月	若林幼稚園：全園児48名 (年少6名、年中26名、年長16名)	幼稚園 私立幼稚園連合会
		園児	・かいわれ大根の水耕栽培を通し、野菜の興味・関心を深める。	令和3年6月14日～18日	古城幼稚園：年長児22名	幼稚園 私立幼稚園連合会

**推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう**

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所入所児童家庭	・保育所の給食試食会を通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。	通年	各施設において、随時実施している。	保育所 保育所連合会 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・保育所連合会栄養士研修で「日本人の摂取基準2020年版について」理解を深め、施設での実践につなげる。	9月6日	参加人数 180名	保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	・保育所給食の衛生管理について講義の研修を通して、衛生管理についての理解を深める。	8月31日, 9月1日	参加人数 2回164名	保育所連合会 子供未来局
3	保育所連合会給食会研究委員会	栄養士	・研究テーマを設け、乳幼児の食育に関する研究・発表に取り組む。	通年	「幼児の家庭における食生活実態調査」により生活習慣や家庭における食生活の実態を把握し前調査（5年毎調査）からの変化を明らかにした。	保育所連合会 子供未来局

**推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう**

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通して、行事食、郷土食にふれる機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における食文化の継承	保育所等入所児童と保護者	・給食の献立に、行事食や郷土料理を提供することを通して、地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。当日のレシピ配付や掲示等で、保護者へも知らせる。	通年	各施設において、随時実施している。	保育所連合会 子供未来局

**推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう**

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子料理教室等の開催</li> <li>・給食試食会</li> <li>・栄養士さんの講話</li> <li>・ミニ菜園づくり など</li> </ul>	通年	未実施	仙台市PTA協議会

**推進の柱③ 地産地消をすすめよう**

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域行事での食育	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田植えや収穫などの農業体験活動</li> </ul>	通年	未実施	仙台市PTA協議会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	はやね・はやおき・あさごはん運動の推奨	一般市民	店舗セールチラシで朝食レシピ提案を行う。	年3回		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

具体的な取り組み ①-A-3 キャンペーンやコンテストなどにより、市民の食育活動への参加を促します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	あいごはんアイデア募集	組合員	組合員から寄せられたあいづらんど商品を使ったアイデアを募集し、ホームページで紹介する。	通年	応募点数17点	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活アンケートの実施と課題推進委員会の開催	大学生	・コロナ禍で変化した学生の食生活についての実態調査を行う。 ・東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生が集まり、大学生の食生活について考え、大学生協の食育推進をどうするか検討する。	7月上旬、8月中旬を予定	アンケートを7月に実施。アンケート回収3,000名分。会議は9月に実施。参加者40名	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学習会	子育て世代の親		実施なし		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ミールプラン推進	大学生	・食堂利用定期券「ミールカード」により、「食費を切り詰めることのない健康的な食生活」を提案する。	利用は年間。プラン作成、販促は下期より	宮城県の大学生協組合員で利用者は5,296人	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学習会【新規】	一般市民	フレイル予防の啓発・情報提供として学習会「健康寿命の延伸に向けたフレイル予防の食事と運動」を実施。	2021/11/30	会場参加48人・オンライン参加42人	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学習会【新規】	一般市民（成人）	学習会「頑張らない減塩のすすめ」を実施。	2022/1/21	会場参加17人・オンライン参加107人	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活提案の展開	一般市民	みやぎ生協は「食」をだいに健康づくりをすすめており、「みやぎ生協の食生活提案」を広めている。YouTubeで期間限定の「たべたいせつ料理教室」を配信し、日本の食文化の話を混ぜながらハシの日のお赤飯などの料理を紹介した。	1月20日～3月31日	再生回数542回	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食育活動委員会の活動	一般市民	食育に興味のあるメンバーが「食育活動委員会」に登録し、例会を持つ。みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学び、メンバーに情報発信する。	5月から1月に例会5回	委員16人。10回開催を予定していたが、コロナ禍で5回開催。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子料理教室・大人のお魚教室開催	親子・成人	・食育NPOおむすび、株式会社仙台水産と共催し、「お魚がきっと好きになる料理教室」「大人のお魚教室」を開催。宮城の旬の魚介類を素材に、調理や学習の援助を実施。	新型コロナウイルス感染症のため実施なし		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	料理教室の開催		・子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいぶらんど商品」をはじめとしたあいコープの食材を活用した試食会、料理教室を開催する。テーマ食材の生産者にも参加していただき、食の現場に学ぶ。		オンラインによる料理教室・使い方紹介（試食品は事前配布）を21回開催しのべ214名参加	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	5A DAY食育体験ツアー	小学生 幼児（5歳児）	2005年から実施している「5A DAY食育体験ツアー」は、店舗の集会所や農産コーナー（コロナ禍で学習を教室で行うケースもあった）を活用して食育の授業を行う。幼児向け5ADAY「たべるのおはなし教室」も実施。	・宮城県内の小学校14校で6月～3月に開催。 ・宮城県内のこども園・保育園5校で6月～1月に開催。	食育体験ツアーは36回実施し1,057人の児童が参加。たべるのおはなし教室は5園で実施し、92人の園児が参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	日本型食生活提案	一般市民	・食育活動委員が「つどい」で、みやぎ生協の食生活提案と減塩について伝えた。	2021/6/24	14人参加	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場商品の普及活動の実施	一般市民	・「めぐみ野」品（産直品）、「めぐみ野」米の普及活動の日を設定し、普及活動に取り組む。	6月から1月まで第2火曜日を中心に実施。「めぐみ野」品の月度重点商品のおすすめを12店舗で、「めぐみ野」米おすすめを49店舗で実施。		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食のかたりべ活動	一般市民	・食に興味のあるメンバーが登録し、「みやぎ生協の食品の安全総合政策」を通してメンバー自身が「食」について学習し、その内容を他のメンバーに伝える活動を行う	実施なし		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
3	食育体験ツールの提案	一般市民	・野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の紙芝居を提案。食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み31・海の恵み38選」を、様々な場面で活用できるように取り組みを広げる	こ～び委員会の各エリアでツールを保有し、活用する。		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	産地見学会	一般市民	・生産現場の見学を行い、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する	①「めぐみ野」野菜生産者の圃場を訪問・交流。 ②ブルーベリー、あおさのり、しらす、宅配のりんご産地を視察。 ③こ〜ぶ委員・生産者・関係者が交流する「ミニ交流会」を開催。 ④「めぐみ野」産地とこ〜ぶ委員がリモートでつなげる「リモート交流会」を実施。	①こ〜ぶ委員2エリアが参加。 ②地域代表理事が参加。 ③4回開催。 ④4回開催、会場参加とリモート参加で120人が参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や農業について生産者や専門家のお話を聞き自分たちの食生活をみなおす。2022年度は畜産をテーマに。		オンラインセミナー（生産者座談会）3回 のべ119名参加 講演会3回 のべ276名参加	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
3	生産者訪問	組合員	・生産者を訪問し、生産現場の様子、工夫などを知り、顔の見える関係を築く。	原木椎茸産地見学（宮城） ながめやま牧場見学（山形） やっべしりんご（ネオニコフリー栽培）見学（山形）	生産者訪問5回 オンライン見学6回	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
4	地区委員会と地場生産者のタイアップ交流	組合員	・10地区委員会がそれぞれ地場生産者の中からタイアップ先を決め、一年を通して農作業体験を通して交流と学習の活動を行う。 ・秋保の圃場で、小豆の種まきから収穫、種別や加工を生産者と共に作業し種子について学ぶ。	通年	秋保たねまきプロジェクト4回開催しのべ67名参加	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
5	Wa!わぁ祭り【新規】	組合員 生産者 一般市民	・生産者、組合員、職員が一緒になって楽しみながら交流するお祭りをオンライン企画を主体として実施。	10月～11月ごろ	動画出展86企画（再生回数6701回） Zoomによるイベント23企画のべ741名参加 生産者との文通100名参加	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生協と生活者が一緒に稲を育てる	一般市民	①メンバーが家庭で稲を育てる「バケツ稲栽培コンテスト」を実施し、メンバー自身が自分で稲を育てる体験をする。 ②現地集合型産地で田植えやた田んぼの生き物観察、農作業体験、稲刈りなどを行う「わが家の味噌作り・旬の野菜づくり体験」を実施。	①バケツ稲栽培コンテスト 稲の配布5月30日、コンテスト10月17日開催。 ②わが家の味噌作り 5月から2月に開催。	①バケツ稲栽培コンテストは17店舗で開催し、412家族が参加。 ②24家族が参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	JAみやぎ仙南「めぐみ野」ねぎ収穫体験	メンバー家族	ねぎ圃場でねぎの抜き取りの収穫体験を行いながら生産者と交流	実施なし		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
3	農業体験の実施	組合員の親子	・あいコープの交流田は、「えんのう」の皆さんに田植え、草取りをしてもらい、生産者に管理していただく。実りの秋には稲刈りを行います。（田んぼに行こう企画） ・年間登録のメンバーによりあいコープの体験圃場でさつまいも、落花生。秋大根の栽培を体験する。（畑に行こう企画） ・はさま自然村の生産者による指導の下、バケツで稲を育てる取り組み。（バケツ稲選手権）		田んぼにいこう7回（5家族17名登録） 畑にいこう6回（10家族31名登録） バケツ稲選手権（11家族31名参加）	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	・宮城県産品を利用しての商品開発を継続して行う ・東北地方の震災復興と地域振興を目的に立ち上げた新ブランド「古今東北（ここんとうほく）」は東北6県からえりすぐりの食材、加工品など開発・発売。	通年	古今東北商品は2021年度末現在231品目。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱④ 環境を意識した食の取り組みをすすめよう

取り組みの方向性 ④-A 食品ロス削減の取り組みをすすめ、市民の実践につなげます

具体的な取り組み ④-A-2 フードバンクの取り組みをすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	コープフードバンク	一般市民	お取引先の食品企業等から余剰食品の無償提供を受け、社会福祉に寄与する団体・組織等へ無償で提供することを通して、食品の無駄をなくすとともに、だれもが安心して暮らせる地域社会づくりをすすめる。	通年	2022年3月21人現在 法人サポーター109社 提供企業・団体140社	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ⑤-B 食品表示の知識を普及し、食品の選択への活用をすすめます

具体的な取り組み ⑤-B-1 食品表示の知識を広く発信し、活用法を知る機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品表示の知識普及、活用の推進	一般市民（成人）		実施なし		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）



**推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう**

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座。	未開催		みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくれます

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座。	未開催		みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくれます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座。	未開催		みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

**推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう**

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座。	未開催		みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座。	未開催		みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
2	オーガニック・ウィーク・センダイ2021	生産者・一般市民・流通加工業者・販売者など	2016年より他団体と提携して実行委員会を組織して、共通のロゴ・のぼり旗を使い宮城県内で「オーガニック」や「有機」といった言葉を広めるためのキャンペーンを実施。WEBで生産者・販売者マップ、イベントカレンダーなどを作成。情報を集約し、Facebookなどでマップや紹介動画などで広報する。	未開催		みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ						
取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座。	未開催		みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
2	ネオニコチノイド系農薬の危険性を広める紙芝居の発信	小学校3、4年生	強い効果で、且つ長期間にわたり影響を与え続けるネオニコチノイド系の危険性を分かりやすく伝える紙芝居を2冊作製した。農薬の特徴や生態系への影響などを発信する。ネオニコチノイド系農薬の危険性について認知度向上を図る。	2021年11月	仙台長町紙芝居フェスティバルに出演	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
3	田んぼとピオトープ生物観察	児童から大人まで	仙台市宮城野区岡田地区の農薬不使用の田んぼの現状と、その周辺を見学する市民学習会を開催。安全な食への取り組み、メダカ米プロジェクトやピオトープなど生態系に関すること、また地域復興についても学ぶ。	未開催		みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	JA仙台食農教育プラン 親子農業体験の開催	一般市民	○親子農業体験「ふあむふあむ」と題し、参加者を募集したところ75名の一般市民の方が参加。 ◆園芸：枝豆収穫体験 ◆果樹：梨狩り体験 ◆園芸：しいたけ収穫体験	8月 枝豆収穫体験 2回 10月 梨狩り体験 12月 しいたけ収穫体験	計4回の体験講習に75名の一般市民の方が参加し、園芸・果樹の収穫を体験。	仙台農業協同組合
2	JA仙台食農教育プラン 学童農園	小学生	○農作業体験（地区青年部が主体となって実施） ◆田植え 富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、荒井小、国見小、大沢小 ◆稲刈り 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、生出小、大沢小 ◆バケツ稲作栽培 国見小 ◆さつまいも・里芋 播種・収穫 杉の子保育園、ハンビの森こども保育園、聖剣スファ幼稚園 ◆枝豆播種 荒井小	・田植え5月 ・バケツ苗 5月 ・稲刈り10月 ・さつまいも・里芋苗定植 6月 ・枝豆播種 5月 ・さつまいも・里芋収穫 11月	田植え：約700名 稲刈り：約550名 播種：約100名 苗定植：約100名 収穫：約100名	仙台農業協同組合
3	JA仙台食農教育プラン 豆腐づくり講座	小学生	○地場産大豆を使って豆腐づくりを指導 1回35人前後で3時間ほどの講座（750gの大豆使用） ◆今年度も募集し参加校を募ります。	・7月上旬に各市町村の教育委員会を通じ案内書を送付。 11月頃から講座開始	8回の講習を実施（192名：鹿野・東仙台・幸町南） コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止（4回：人來田小学校・汐見小学校）	仙台農業協同組合

**推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう**

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大麦クッキーの商品開発	一般の人々	大麦の栄養成分は、他の穀類と比較し食物繊維量が多く含まれ、大麦の細胞壁多糖の一種であるβ-グルカンの割合が高いことが特徴である。この大麦に含まれるβ-グルカンは、血中コレステロール値の正常化、血糖値の上昇抑制、内臓脂肪蓄積抑制などの機能性が見出され、様々な食品への利用が試みられている。今回はクッキーへの利用を試み、商品化へつなげる。できれば宮城県産大麦を使用したいと考えている。	令和3年度中に完成予定	女子大生9名が大麦粉を利用したクッキーの試作に組み、嗜好的に好ましい配合割合を決定づけることができた。商品化については今後検討していく予定である。	仙台白百合女子大学

**推進の柱③ 地産地消をすすめよう**

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	育てよう、夏野菜。夏野菜でクッキング	女子大生	各家庭において実際に無農薬の夏野菜を育て野菜栽培の手法、自然の摂理や生態を知り、食と農とのかかわりや食材の地域性、野菜の調理性・栄養性等について学ぶ。(継続)	5月中旬から9月初旬	女子大生9名がコロナウイルス感染拡大防止のために各家庭において栽培実践し、各自が収穫できた野菜を使って創作料理をつくり、その内容を発表しあった。	仙台白百合女子大学

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学生に向けた食育の推進	大学生	食育関連の授業や研究室ゼミを通して、食に関する知識を提供して意識を高め、学生が自分自身の食生活を見直し、改善することを促した。	11～12月に5回（授業） 5～7月・月3回（ゼミ） 10～1月・月3回（ゼミ）	1・2年生 約100名 4年生 5名 3・4年生 9名	宮城大学食産業学群
2	女子高校生に向けた食育の推進	女子高校生	若い女性のやせすぎが問題となっている。女子学生は成長に伴う体型変化により、中・高校生の約70～80%にやせ願望が見られるとの報告もある。そこで、仙台市内の女子高校2年生を対象として、食と健康に対する意識、ダイエット経験や自身の見た目に対する意識との関係について調査し、その結果から女子高校生に対する食育のあり方を検討した。	12月21日に調査実施	対象者：女子高校生 108名	宮城大学食産業学群

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	フレイル予防の啓発	一般市民（高齢者）	南ニュータウン・萩の台介護予防教室で、「栄養とフレイル予防」の演題でフレイル予防のための食事や運動に関する講演を実施した。	11月9日	高齢者対象：約20名	宮城大学・山田地域包括支援センター
2	フレイル予防の啓発	一般市民（中年期～高齢者）	みやぎ生協 学習会で「健康寿命の延伸に向けたフレイル予防の食事と運動」の演題で講演を実施した。	11月30日	中年期～高齢者対象：94名	みやぎ生協生活文化部

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品に関する講座等の開催	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に, 食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	11月, 1回	参加 34名	市民局
推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ						
取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに, 正しい知識を学ぶ機会をつくれます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	広報誌「ゆたかなくらし」の発行	一般市民	・消費生活に関連する様々な情報の提供。	年4回発行 6月, 9月, 12月, 3月 各9,000部発行	年4回発行 6月, 9月, 12月, 3月 各9,000部発行	市民局
2	ホームページによる情報提供	一般市民	・食品表示に関する情報の提供。	随時	随時	市民局
3	消費生活センター内情報コーナーでの情報発信	一般市民	・行政機関や, 各種団体の啓発資料等を設置し, 情報提供の場とする。	随時	随時	市民局
4	食品に関する講座等の開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に, 食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	11月, 1回	参加 34名	市民局
5	仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	一般市民	・消費生活の知識を楽しく学ぶことができる消費者教育ウェブサイト「伊達学園」において, 幼児期から成人まで発達段階に応じた情報提供を行う。また, 学校における消費者教育をより一層支援することを目的とした小学校高学年向けのウェブサイト「授業でござる」では, お金の使い方や地産地消などの情報提供を行う。	随時	R4.3月更新	市民局
		小・中学生	・子ども達が消費生活について関心を持って学べるリーフレット等を製作し, 市内の小中学校に配布。 ①めざせ! 買い物名人 (小学校高学年用リーフレット) ②めざせ! 賢い消費者 伊達なくらし入門 (中学生用副読本)	年1回 (3月)	各10,500部作成	市民局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ「くらしのガイド『子育て』」での情報発信	一般市民	・妊娠中の食生活や、離乳食、幼児食などの情報を提供	通年	子育てサポートブック「たのしねっと」に掲載している内容（妊娠中の食生活・離乳食・幼児食について）の情報発信を実施。	子供未来局

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	離乳食・幼児食講座、試食会	地域の子育て家庭保護者	各保育所及び子育て支援センターでの離乳食講座、幼児食講座の実施を通して、子育て家庭の保護者へ健康的な食習慣について情報発信をする。	4～3月 公立42件 私立27件 認可18件	公立279名 公立181名 認可139名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
2	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所等入所児童の保護者	・保育所等の給食だよりを通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。	全保育所で毎月給食だよりやリーフレットを発行	入所児童家庭対象施設数 公立33施設 私立144施設 認可43施設	保育所 保育所連合会 子供未来局
3	親子調理活動	保育所等入所児童と保護者	・保育参観や懇談会等で親子調理活動を実施し、親子で食事作りを楽しみ、家庭での食への興味や関心を深める。	4～3月 公立0件 私立0件 認可19件	参加者 認可245名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
4	保護者への啓発	保育所等入所児童の保護者	・給食だよりに食育活動報告を載せ、保護者に周知する。 ・懇談会や給食試食会を実施する。	保護者周知 公立489回 私立2,113回 認可649回  懇談会等 公立69回 私立569回 認可251回	参加者 公立788名 私立4,402名 認可2,414名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等【新規】	栄養士	・保育所連合会栄養士研修で乳幼児の発育・発達と食行動についての理解を深め、施設での実践に繋げる。 ・栄養士研究委員会にてテーマを設けて研究・発表する。	9月6日	180名	保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会【新規】	栄養士・調理員	・講義を通して、保育施設の衛生管理を学ぶ。	2回 8月31日 9月1日	164名	保育所連合会 子供未来局
3	栄養士研修【新規】	小規模AB事業所内	・乳幼児の咀嚼・嚥下機能の発達について	7月15日	90名	保育所 子供未来局
4	認定こども園栄養士研修【新規】	幼保連携型・保育型認定こども園	・乳幼児における食物アレルギーの基本について	7月2日	32名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
5	業務研修	保育士	・職場内で食育や食物アレルギーの研修を実施し、正しい知識を得るとともに職員間での共通理解を深め実践につなげる。	随時	公立 28回175回	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
6	食物アレルギー研修会	保育所等職員	・「エビベン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する。	随時	12施設 142名	保育所 子供未来局

具体的な取組 ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします。

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	母子手帳交付説明会、母親教室等での啓発	妊産婦 その家族	・妊娠中の食生活の確認と、家族を含めた健康的な食習慣についての啓発・相談・指導	母子健康手帳交付説明会：各 区・支所に毎月1～2回、 年間95回開催 母親教室等：30回開催 産後交流会（宮総）：2回 歯ッピー教室（宮総）：5回	母子健康手帳交付説明会： 453人参加、個別相談8件 母親教室等：308人参加、個 別相談41件 産後交流会（宮総）18人参加 歯ッピー教室（宮総）16人参加、個別相談9件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
2	3～4か月児育児教室での啓発	乳児の保護者	・乳児の食生活についての資料配布、パネル展示等	※新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、R2.3月～中止しているため、対象者への電話支援を実施した。	対象者への電話支援からつながった個別相談5件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
3	離乳食教室	乳児の保護者	・離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ ・参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発（太白）	年間44回開催予定（一部オンライン開催あり） せんだいTube・太白区チャンネルにて、「食育情報」の動画を配信	346人参加、個別相談128件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
4	1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児健診における啓発	幼児の保護者	・幼児期の健康的な食生活についての啓発と、個別相談 ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取について啓発（2歳6か月児歯科健診集団指導時：太白）	1歳6か月児健康診査：208回 2歳6か月児歯科健康診査：209回 3歳児健康診査：215回	1歳6か月児健診：7,602人受診、個別相談1,128件 2歳6か月児歯科健診：7,485人受診、個別相談712件 3歳児健診：8,036人受診、個別相談602件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
5	訪問相談	地域の子育て家庭保護者	・地域子育て家庭へ訪問し、乳幼児の食のすすめ方について個別に相談指導を行う。	4月～3月 6か所で実施	362件	保育所 子供未来局



具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民センター、児童館への出前講座	地域の子育て家庭 保護者	・児童館、市民センターで離乳食講座、幼児食講座を実施し（出前講座）、生活リズムや健康的な食習慣についての情報を伝える。	公立 7回	（公立） 参加者25名	保育所 子供未来局
取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます						
具体的な取り組み ①-G-1 保育所の食育計画に基づき、日々の生活の中で子供たちへの食育を充実させます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等における食育の充実	保育所等入所児童 と保護者	・各施設において「食育の計画」並びに「食育活動計画」を作成し、保育の中での食育を推進する。  ・毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける。  ・各施設での食育活動を通して、朝食を毎日バランスよく食べる家庭が増えることを目指す。	4月～3月 食育計画 公立33件 私立147件 認可43件 食育活動 公立989回 私立3,525回 認可2,005回 朝食について働きかけ 公立66回 私立450回 認可128回	「年間食育計画」並びに「食育活動計画」は全保育所で作成、実施。  食育活動参加 公立29,008名 私立81,641名 認可37,549名 朝食についての働きかけ 公立 4,386名 私立17,927名 認可13,561名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
		保育所職員	・食育の一環として保育士が子どもと同じものを食べ、子どもが食べ物に興味や関心を持ち、食べる意欲を育てたり食事マナーに気付かせるような働きかけを行う。	6月～3月 公立 指導食 33施設	180人 12,818食	
具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	畑作りとその収穫物を利用した食事作り	保育所等入所児童	・畑作りの年間計画をたてる。  ・子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる体験までつなげる。  ・収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。	計画 公立32件 私立119件 認可38件 4月～3月 収穫した回数 公立1,048回 私立2,909回 認可1,126回 収穫物を給食に取り入れた回数 公立920回 私立3,219回 認可958回	収穫物を食した人数 公立 48,035名 私立106,360名 認可43,624名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	父親育児参加推進事業のひすく仙台「パパ'sクッキング」	乳幼児のいる父親	・父親が参加しやすい土日にガスサロンを会場に料理教室を開催	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響から開催見送り (当事業は仙台市ガス局との共同事業としてガスサロンでの実施を予定していたが、燃料費高騰等の状況を受けてガス局から開催を見送るとの話があり、市民センター等に場所を替えて実施できないか検討したものの、新型コロナウイルス感染症の影響から開催に至らなかった。)		子供未来局

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における食文化の継承	保育所等入所児童	・給食の献立や行事に、行事食や郷土料理（伝統食）を提供することを通じて地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。	4～3月 行事食や伝承料理を給食に取り入れた回数 公立515回 私立10,244回 認可947回	食した人数 公立38,067名 私立241,428名 認可89,836名 保護者への啓発 公立308回 私立2,861回 認可551回	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における地場産物の活用推進	保育所等入所児童と保護者	・地域の生産者との連携により、米や季節の野菜を給食のメニューに取り入れる。 また、生産者と児童が野菜や食材を通して交流を図り、流通について学んだり、感謝の気持ちを持つ。 ・保護者にも活動の様子を伝え、地元の食材に関心を持ってもらう。	宮城県産食材を使用した回数 公立25,534回 私立47,091回 認可12,475回 地産地消について働きかけ 公立107回 私立465回 認可610回	地元生産者から直接購入 公立5か所 私立31か所 認可11か所 宮城県産利用割合（公立） 6月25.5% 11月25.0%	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

推進の柱④ 環境を意識した食の取り組みをすすめよう

取り組みの方向性 ④-A 食品ロス削減の取り組みをすすめ、市民の実践につなげます

具体的な取り組み ④-A-1 「モットイナイ」の精神で、食品を無駄なく使い、食品ロスや生ごみを減らす取り組みを応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	モットイナイキッチン	一般市民	食の3Rにつながるレシピ（普段は捨ててしまう食材の使用、生ごみを出さない調理の工夫など）と、食品ロスの解決や生ごみ分別のヒントにつながる情報を提供するウェブサイトにより、食品ロス削減に関する市民の気運醸成と食の大切さを再発見するきっかけづくりを進める。	通年（平成29年9月1日 サイト公開）	ウェブサイトアクセス数 36,082件	環境局
2	食品ロスガイドブックの活用	講座受講者等	令和3年3月に発行した「せんだい食品ロス削減ガイドブック」について、講座受講者等への配布、ウェブサイト「ワケルネット」において公開することにより、市民へ向けて食品ロス削減に関する啓発を行う。	随時	市立図書館と連携し、図書館の企画展示スペースにポスターやガイドブックを掲示し、一部図書館ではガイドブックと連動した動画を再生しガイドブックの活用及び食品ロス削減に関する啓発を行った。あわせて、ガイドブック付属の「せんだい食品ロス・ダイアリー」を実際に記入して応募するチャレンジキャンペーンを実施した。	環境局

具体的な取り組み ④-A-3 フードバンク、フードドライブの取り組みを市民に広く啓発し、食品ロス削減への気運を高めます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	フードドライブ	一般市民	市施設と民間商業施設で未使用食品の回収事業を実施し、フードドライブの取り組みに関して啓発する。	通年	回収した食品はフードバンク仙台、NPO法人ふとうどばんく東北AGAINに引き渡し 、「4月1日～9月30日は13か所」「10月は24か所」「11月～令和4年1月は18か所」「令和4年2月は25か所」「令和4年3月は19か所」の回収拠点で実施、食品の回収量は18,779.44kg。	環境局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流，体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり，広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここでちゃん）	一般市民	・イベント等で「せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここでちゃん）」を活用し，仙台産農産物のPRを図る。	随時		経済局
2	NHKテレビ「もりすた！」	一般市民	・仙台市中央卸売市場で取り扱う旬の食材と，その食材を生かした美味しい食べ方等を紹介する。	通年 放送回数34回		経済局
3	小学校，一般市民などの市場見学への対応	一般市民	・食品流通の仕組みと市場の役割について理解を深めてもらうため，一般市民や小学生親子に中央卸売市場内を見学してもらう ①一般見学 ②夏休み親子市場見学会	①新型コロナウイルス感染症の影響により当面は見学受付を休止中。 ②中止		経済局 （事業主体： ② ・仙台おさかな普及協会 ・やさい・くだもの普及委員会
4	地産地消機会創出のための情報発信【新規】	一般市民	ホームページやSNSを活用し，市内産農産物などに関する情報を発信し，消費拡大を図る。 ①ホームページを開設し，生産者取材や市内産農産物を使ったレシピを掲載するほか，事業の広報等を行う。 ②SNS（Instagram）を開設し，生産者取材，販売店や直売イベントの広報のほか，市内産農産物やレシピ等の紹介を行う。	通年 ①ホームページは随時更新 ②SNSは週2～3回程度の頻度でタイムリーな内容の記事投稿を実施。	①2,350ユーザーの来訪。 ②記事投稿数：102回 フォロワー数：726名	経済局

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市旬の香り市	一般市民	仙台市内の生産農家が直売をする ①仙台市勾当台公園カフェ前 ②せんだい農業園芸センターみどりの杜	①4～11月に原則月2回，計15回の開催を予定していたが，新型コロナウイルス感染症への対応のため4月と9月の日程の一部を中止，他の月に振り替えて，結果としては年間15回開催することができた。 ②4～10月に計7回の開催を予定したが，新型コロナウイルス感染症への対応のため年間3回のみ開催となった。	①新型コロナウイルス感染症の影響で13回しか開催できなかった昨年度と比べると売り上げは全体で20%増，1出店者当たりでも5%増の結果であった。	経済局
2	地産地消推進サポーター事業（※令和3年度で事業終了）	地産地消推進サポーター	・仙台市内の生産現場や，直売所，農家レストラン等，地産地消に取り組む施設の見学を行う。 ・畑での播種や収穫体験等を通じて，生産者との交流及び生産現場への理解を深める機会の創出を図る。	①栽培収穫体験講座 8月27日（播種） 10月2日（収穫） ②生産現場見学会：9月17日	①栽培収穫体験講座 8月27日：15名 10月2日：10名 ②生産現場見学会：16名	経済局
3	地産地消イベント開催	一般市民	・仙台産農産物を使った料理教室や生産現場の見学会等を開催し，地産地消への関心を高めてもらう。	①果樹園見学会（一般対象） 9月24日 ②仙台産野菜を使った料理教室 （小学生と保護者対象） 12月18日 ③仙台産野菜のお話（一般対象） 2月26日	①果樹園見学会：16名 ②仙台産野菜を使った料理教室：7組14名 ③仙台産野菜のお話：12名	経済局
4	せんだい収穫まつり開催	一般市民	・せんだい農業園芸センターにて開催 ・生産者と消費者等の相互交流を図るためのイベント	11月13・14日（2日間）	来場者数：14,305人	経済局

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	レクリエーション農園、学童農園設置促進事業	一般市民、児童	・市民や子どもたちが「農」と触れあい、体験できる機会の充実を図るための各種農園設置への支援 (レクリエーション農園については開設に係る相談等の対応)	学童農園では、各農園4月～2月に2回以上農作業体験実施	レクリエーション農園の全体の利用率はR2年度比で4.4%増、R元年度比では7.7%増と伸長傾向。 学童農園の実施校はほぼ昨年並みであったが、新型コロナウイルス感染症の影響下ではあったものの、取り組んだ各校・園では、子どもたちの農作業への参加場面を増やす工夫をしながら実施した。 学童農園61農園54校・園（中学校1、小学校28、幼稚園16、保育園9）	経済局

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	農食ビジネスモデル構築事業	一般市民	生産者、流通事業者、飲食店等と連携し、生産地と消費地の近さを活かした流通モデルを構築することにより、枝豆をはじめとした地元の農産物の高付加価値化、消費拡大を図る。	取り扱う農産物の流通時期	今朝採り枝豆 参加飲食店数：33店舗 参加量販店・小売店：29店舗	経済局
2	エコファーマーの周知	一般市民	①せんだい農業園芸センターで開催されたせんだい収穫まつりでPRブースを設置し、来園者に対して情報を提供した。 ②ホームページで取組に関する情報を提供。	①11/13・14（2日間） ②随時	せんだい収穫まつり 来場者数 14,305人	経済局
3	保育所等サンマ教室への協力	①保育所等入所児童 ②中学生	①おさかな普及協会が、保育所等に出向き、子供達が、魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、子供達にサンマの炭火焼を体験させる ②おさかな普及協会が、中学校に出向き、生徒達が魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、生徒達にサンマをおろしてつみれ汁を作ることや、サンマの炭火焼を体験させる	実施時期 10～11月 実施回数 7回 ①保育所等 0回 ②中学校 7回	①保育所等 0名 ②中学生 231名	経済局 (事業主体：仙台おさかな普及協会)
4	生産者による出前授業への協力	小学生	小学校の授業の一環として、生産者が小学校に出向き、農産物等の生産・流通現場について直接子供たちに話をすることにより、食の大切さを伝える。	実施時期 6月・1～2月 実施回数 6回	オンラインでも実施	経済局 (事業主体： ・農業協同組合 ・仙台あおば青果㈱ ・やさい・くだもの普及委員会)

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ

取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	経済局分 検体数20（野菜0、林産物20） ・実施期間 4月～10月 ・検体数 20（林産物）		健康福祉局 経済局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食フェア	一般市民	・市役所食堂での給食メニュー提供及び資料展示	令和4年1月17日～21日まで実施予定。資料展示は本庁舎1階ロビー。	給食メニューは連日完売、資料展示もレプリカや食育教材が好評であった。	健康教育課 教育局
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ，情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-3 学校において食生活調査を実施し，調査結果を活用して健康教育を実施します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策の取組	小・中学生	・今後5年間にわたって取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策に学校・家庭・地域・関係機関の連携を基盤とし，取り組んでいく。	令和2・3年度健康教育推進校として小・中学校4校を指定。令和3・4年度健康教育推進校として小学校2校を指定。健やかな体の育成とともに、感染症拡大予防にも取り組んだ。 健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」（令和3年8月6日実施）		小・中学校 教育局
2	健康実態調査	小・中・高校生	・発育状況・疾病及び体力・運動能力，食習慣についてその実態を把握し，分析検討を加え，もって児童生徒の健康と体力の増進を図る。	6～10月実施。	発育測定・一般検診は全児童生徒対象。体力・運動能力調査は全児童生徒対象。健康に関する調査は指定抽出学年対象。現状を把握し、分析検討を加え、各学校には児童生徒の健康と体力の増進を図るために具体的事例を示した。	市立学校 教育局
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて，健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民対象の食育に関する講演会の実施	学童期の保護者，市民	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し，保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。（学校職員対象の研修会を市民にも開放）	健康教育研修会「せんだいっ子健康セミナー」（令和3年8月6日実施）	参加者55名（教職員）	教育局
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エピペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する	今年度は資料を送付し，各自動画研修実施。  通年。	全学校職員に資料配布し，動画視聴することとした。研修後は各校の代表よりアンケートを回収。	小・中学校 教育局
2	食育講演会	学校職員	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し，保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。（学校職員対象の研修会を市民にも開放）	健康教育研修会「せんだいっ子健康セミナー」（令和3年8月6日実施）（再掲）	参加者55名（教職員）	小・中学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子食育講座	小学生とその保護者	・子供の基本的な生活習慣の確立と生活リズム改善を目的として、栄養士等を講師とした「食育」に関する講話・調理実習を内容とする講座を行う（各小学校の社会学級やPTA等に委託）	令和3年6月～令和4年1月12校で実施予定	参加者1,769名（児童950名、保護者746名、その他（地域の方など）73名）	教育局
取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	調理講習会in学校給食センター	小学生とその保護者	・学校給食センターの見学や調理実習を通じて、食の大切さ等について学ぶ機会を提供	今年度は中止		教育局
推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-2 学校給食を通じて行事食、郷土食を伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食を生きた教材として活用した食育の推進	児童生徒・保護者	・給食の時間における食に関する年間指導に基づいて、地域の郷土食や行事食を提供することを通じて、地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。併せて保護者へも献立表や給食だよりで紹介し、家庭における食育を促す。	各学校において、随時実施。		小・中学校教育局
推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します						
具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「せんだいっ子給食月間」	児童生徒	・6月に「せんだいっ子給食月間」を設け、地場産物の活用状況についての調査を行う。	6月実施。		教育局
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページでの情報発信	一般市民	・学校、仙台市教育委員会のホームページで地場産物活用献立の紹介などを広く発信する。	随時。		教育局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ食育のページでの発信	一般市民	・食育事業の紹介、食育推進隊などの活動紹介、関係機関等へのリンクなど、情報を発信	通年		健康福祉局
2	各区ホームページの食育のページでの情報提供	一般市民	・食育に関する事業のお知らせや実施状況 ・食で健康サポート店の紹介 ・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
3	健康づくり情報コーナーの設置	一般市民	・食事バランスガイド、食で健康サポート店、健康づくりや生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	庁舎内に設置 随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
4	食育月間事業 食生活改善普及運動 食育の日普及啓発	一般市民	・市政だより、区ホームページ、庁内放送、パネル展、レシピの配布等による普及啓発	6月 食育月間パネル展実施 9月 食生活改善普及運動 毎月19日 食育の日	各区、総合支所にてパネル展等開催、レシピ・啓発物配布、庁内放送を実施 【食育月間】パネル展8回、資料配布延2502枚、庁内放送延37回 【食生活改善普及運動】パネル展等10回、資料配布延2118枚 【食育の日】 庁内放送：延55回 資料配布等：延1292枚	各区保健福祉センター 総合支所
5	「食育の日」のほり設置による啓発	地域住民	・庁舎前・地域の中心部国道沿いに「毎月19日は、食育の日」～家族で食事のことを話しましょう～のほりを設置しPR	毎月15日～19日の5日間	左記のとおり実施	秋保総合支所
6	せんだいTube、太白区チャンネルでの情報発信【新規】	子育て世代	・離乳食レシピ動画、地域と連携した食育動画、野菜食育プログラム連動レシピ動画をせんだいTube、太白区チャンネルで発信 ・食育動画啓発ポスターを関係機関に配布、リーフレットを3～4か月育児教室対象者に配付	通年	・動画視聴回数 せんだいTube 7,285回 太白区チャンネル 803 ・食育動画啓発ポスター小規模保育事業所23施設、太白区保育所10施設に配付 リーフレット1,822部配付	太白区保健福祉センター
7	健康政策課Facebookページの開設	一般市民	・健康政策課Facebookページ「仙台伊達なキッチン-だてきち」で、食を中心にした健康情報や簡単レシピなどを発信する	毎週水曜日に記事を配信 その他イベント等に合わせて情報を随時配信	アクセス数：3712回 投稿回数：49回	健康福祉局



具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発	子育て中の保護者	・PTAフェスティバルにて、生活習慣病予防コーナーを設置し、小中学生の親子に健康的な食事について情報発信を行う。 ・野菜クイズ、野菜に関するパネル、フードモデル展示など	11月に開催するPTAフェスティバルにて資料配布	未実施	健康福祉局
2	子育てについてのイベント	子育て中の保護者とその子ども	・「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信 郷土料理、手作りおやつを紹介など	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止		泉区保健福祉センター
3	おやつレシピコンテストを契機とした啓発【新規】	子育て中の保護者とその子ども	・野菜を使った、親子で作る手作りおやつをテーマにおやつレシピコンテストを開催し、入賞レシピをホームページや展示等で配布。 ・おやつレシピコンテストの審査に親子で参加してもらうことで、食への興味関心を高める。	7月～10月 レシピ募集 11月 親子による投票審査 12月 実食審査 1月 表彰式 2月～ レシピ紹介	11月 3歳児健診に来所した親子による投票審査を実施(68組参加)	宮城野区保健福祉センター
4	子育て世代、働き盛りに向けたイベント【新規】	児童と保護者	・ララガーデン長町におけるウォーキングクイズラリー 館内に健康クイズを設置し、参加者は、館内を歩きながらクイズに回答。参加者にクイズの回答と健康情報を掲載した資料等を配付 ・八木山動物公園におけるウォーキングクイズラリー ・園内に動物健康クイズを設置し、参加者は、園内を歩きながらクイズに回答。参加者にクイズの回答と健康情報を掲載した資料等を配付 ・参加者アンケート結果より作成した運動啓発ポスターを関係機関に掲示	・8月12日  ・11月28日  ・12月	・47名参加  ・798名参加  ・関係機関26施設配付・掲示	太白区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-A-4 食育活動に取り組む市民のネットワークをつくり、活動についての情報を広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台食育推進隊」の登録推進と情報発信	一般市民	・「仙台食育推進隊」の募集、登録。また、活動状況や情報をホームページなどで市民に提供	通年	登録数 12団体・個人 交流会今年度実施なし	健康福祉局
2	食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	・食の講座や個人への普及啓発等のボランティア活動のための情報提供、助言 ・推進員育成の支援 ・3分会合同の地区リーダー研修会の実施	(健康政策課) ・2月 リーダー研修会 ・打ち合わせ会 年2回 (宮総) 定期総会は書面にて開催予定。 委託事業、宮城地区での研修等については、感染拡大防止対策を取り、可能な範囲で実施。 (秋総) 5月定期総会。推進員対象の研修を開催予定。リーダー研修会は中止。 (泉区) 推進員育成講座は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	(宮総) 定期総会 書面開催 役員会 2回 若い世代向け講座(広瀬高校) 12/8資料配布・説明65名 (秋総) 5月定期総会 3月反省会 その他、推進員対象の学習会を開催 5回42名 (泉) ・推進員育成講座は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。 ・1月 宮城県委託事業「シニアカフェ」実施。参加者10名 会員2名 2名従事(全体) ・打ち合わせ会 10月6日	健康福祉局 宮城総合支所 秋保総合支所 泉区保健福祉センター
3	食育サポーター養成講座	食育に関心のある市民	・地域で活動する食育サポーターを養成する ・今年度は、既存のグループ(もくもく、La ta ta♪(ラッタッタ)、郷土料理つたえ隊)の追加メンバーを養成する。	未定	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	宮城野区保健福祉センター
4	食育サポーターの活動支援	食育サポーター	①食育サポーターの研修 ②食育サポーターの活動の場の提供、紹介等	①未定 ②随時	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施なし	宮城野区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学との連携による若い世代への食育推進事業「大学生の食育プロジェクト」	若い世代	若い世代への食育啓発のため、同世代の学生が自らのアイディアで、より多くの若者に食の大切さを浸透させ、食育の関心を高める取り組みを行う。	実施未定	未実施	健康福祉局
2	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースレター（NL）とホームページによる健康づくりの普及啓発</li> <li>・学校を訪問し、健康課題など状況を把握する</li> <li>・リーフレットによる検診と食育の啓発</li> </ul>	NL：年2回発行	NL配布：2回52か所	青葉区保健福祉センター
		大学生等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北工業大学の新生を対象に「健康な食生活、歯と口の健康、防煙」等の内容を盛り込んだ総合的な健康教育の実施。</li> <li>・大学文化祭にてポスター掲示、資料・レシピ集配布</li> <li>・宮城大学食産業学群1,2年生対象に食育アンケート結果を活用した啓発</li> </ul>	6校啓発	6校 年2回啓発媒体の送付（6月、9月） 1699人×2回	宮城野区保健福祉センター
		大学生等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①食育月間に合わせ、朝食についての資料を配布。 《①-A-1再掲》</li> <li>②東北生活文化大学との連携により、若い世代向けの啓発媒体を作成し、大学祭での啓発に活用する。</li> </ul>	①6月 ②11～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・123名</li> <li>・資料・レシピ集124部配布</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul>	太白区保健福祉センター
3	おやつレシピコンテスト【新規】	専門学校の学生	・仙台スイーツ&カフェ専門学校と連携し、親子が一緒に調理できる、野菜を使ったおやつをテーマに学生からレシピを募集し、おやつレシピコンテストを開催。	7月～10月 レシピ募集 11月 親子による投票審査 12月 実食審査 1月 表彰式 2月～ レシピ紹介	1月18日 表彰式をオンラインで開催 最優秀賞1作品、区長賞1作品、入賞2作品を表彰	宮城野区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-1 子供や家族の食習慣について、現状を把握します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	幼児の食生活状況の把握	1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査・3歳児健康診査受診者	・幼児健診の問診票や健診結果のデータ等を集積し、食生活状況を把握する	通年	身長・体重・肥満度・問診項目・個別相談の結果等を集計	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児健診、離乳食教室、訪問栄養相談での把握	乳幼児の保護者	・問診票、アンケート、聞き取り等による食生活状況の把握	離乳食教室にて母親の食生活状況についてのアンケート実施（継続）	アンケート 5回31名実施（5月は中止）	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育 (出前健康教育, 出前講座, 宅配講座)	地域の子育て中の保護者	・乳幼児期の食生活についての講話, 個別相談等	随時受付	(集団指導) 実施回数: 14回 参加人数: 72名 (個別指導) 延23名	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児食相談会	概ね1歳~1歳4か月児と保護者	・食育や幼児食についての個別相談会	3回(6・10・12月) (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため, 8・2月の回を中止)	3回 8組	青葉区保健福祉センター
3	「モーベジ!」を活用した啓発	子育て世代	・食育推進事業の標語「モーベジ!」を活用し, 朝食と野菜摂取を各種事業で啓発(幼児健診, 離乳食教室等)モーベジガイド, モーベジレシピ配布(HPでも公開) ・ララガーデン長町飲食店と連携し, 各店舗野菜メニューに栄養情報を掲載して, ポスター掲示 ・ララガーデン長町における秋保ピレシジマルシェにてモーベジポスター掲示, レシピ配布	通年 ・10月16日~31日 ・10月~12月 3回	・モーベジガイド 289部, モーベジレシピ 184部配付 ・協力飲食店12店舗 ・325部配布	太白区保健福祉センター
4	幼児食育連携事業【新規】	幼児とその保護者	・幼稚園等で事前・事後アンケート, 食育通信発行, 食育ビデオ上映等野菜食育プログラムを活用し実施	8月~3月 4回実施	保育園2施設, 幼稚園2施設279名実施	太白区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発《①-A-2再掲》	子育て中の保護者	・PTAフェスティバルにて, 生活習慣病予防コーナーを設置し, 小中学生の親子に健康的な食事について情報発信を行う。 ・野菜クイズ, 野菜に関するパネル, フードモデル展示など	11月にWeb開催するPTAフェスティバルに資料掲載	Web配信「間食のとりかたについてかんがえよう」	健康福祉局
2	子育て世代、働き盛りに向けたイベント《①-A-2に再掲》【新規】	児童と保護者	・ララガーデン長町におけるウォーキングクイズラリー 館内に健康クイズを設置し, 参加者は, 館内を歩きながらクイズに回答。参加者にクイズの回答と健康情報を掲載した資料等を配付 ・八木山動物公園におけるウォーキングクイズラリー ・園内に動物健康クイズを設置し, 参加者は, 園内を歩きながらクイズに回答。参加者にクイズの回答と健康情報を掲載した資料等を配付 ・参加者アンケート結果より作成した運動啓発ポスターを関係機関に掲示	・8月12日  ・11月28日  ・12月	・47名参加  ・798名参加  ・関係機関26施設配付・掲示	太白区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会	認可保育所, 認定こども園, 小規模保育事業施設, 認可外保育施設, 企業主導型保育実施施設, 事業所内保育施設の食育担当者等	・情報交換会は中止とし, 対象施設へのアンケート調査・情報提供	青葉区・宮城共催 対象 130施設 アンケート調査: 1回	7月 130施設(内宮総管内24施設)	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	食育情報交換会	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者, 訪問栄養相談員	・食育や健康づくりに関する講演, 事例紹介, 情報交換	年1回→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	開催なし	若林区保健福祉センター
3	食育担当者情報交換会	保育所, 幼稚園, 学校の食育担当者	・事例発表, 情報提供, 情報交換等の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止		太白区保健福祉センター 秋保総合支所

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	マミーズクラブ同窓会での啓発	母親教室卒業生（乳児の保護者）	・授乳中の母親の食事について講話と資料配布	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、食事についての講話・資料配布等は休止中(再開時期未定)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、食事についての講話・資料配布等は休止中(再開時期未定)	青葉区保健福祉センター
2	育児相談会「まめっこの会」	1歳までの乳幼児と保護者	・育児相談 ・育児の情報提供など	年5回（7・9・11・1・3月）	5回 栄養相談13名	青葉区保健福祉センター
3	歯ッピー教室(1歳児歯科保健教室)における啓発	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食生活についての啓発（集団指導）と個別相談	奇数月開催（定員10組×6回） 5月は電話相談で対応	5回16組参加（個別相談9件） 5月の電話相談は栄養はなし	宮城総合支所
4	母親教室での啓発	妊婦	・妊娠中、出産後の身体を考えた食生活についての講話、資料配布	年4回予定（4・7・10・1月） 4月は中止	3回 32名参加（個別相談4件）	宮城総合支所
5	あかちゃんくらぶでの啓発	乳児の保護者	・乳児期の食事の進め方と家族の食生活について講話	年3回予定（5・9・3月） 5月は中止	2回 18名参加（個別相談5件）	宮城総合支所
6	育児相談	乳幼児の保護者	・親が現在の子供の食事内容や与え方等について相談し、子供にあった対応についての確認をし、自信を持って食事づくりができるよう支援をする	10回（高砂保健センター、岩切保健センター各5回開催。4・5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止のため回数減）	高砂：5回 15件 岩切：3回 5件 （岩切の開催5回中2回は栄養相談予約なし）	宮城野区保健福祉センター
				所内、六郷保健センター、七郷保健センターにて各12回（うち所内・六郷・七郷各2回新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）	所内：10回23名 六郷：1回1名（6月以降毎月開催予定だったが予約なく9回中止） 七郷：10回19名	若林区保健福祉センター
				茂庭台 年5回 東中田 年1回 区役所 年10回 4～5月中止	茂庭台 17名参加 東中田 2名参加 区役所 47名参加 4～5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため中止	太白区保健福祉センター
				泉すくすく育児相談 6月28日、8月23日、10月25日、12月27日 計4回実施	栄養相談 延べ19組	泉区保健福祉センター
7	育児相談（幼児健診事後）	乳幼児の保護者	・1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室で、幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	風の子（1.6事後） 9月21日 栄養講話実施 わんぱく（2.6、3.7事後） 12月7日 栄養講話実施	参加者6組 参加者5組	泉区保健福祉センター
8	訪問栄養指導事業	おもに妊産婦、乳幼児の保護者など	・家庭訪問により、生活実態に合った具体的な支援をする	通年	延件数 196件 妊産婦：1件 乳幼児：195件 その他：0件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
9	食生活・栄養相談	乳幼児の保護者及び妊産婦	・電話、来所による栄養相談	通年、随時受付	妊産婦：39件 乳幼児：545件	各区保健福祉センター 総合支所
10	ハロー赤ちゃん	初妊婦	・来所による妊娠中の食生活についての集団指導を実施する	年3回実施、3回中止	58名参加 3回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、資料送付	太白区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	拡大学校保健委員会	保護者	・拡大学校保健委員会（保護者参加）の中で、地域の健康課題や児童の健診結果について共有し、生活習慣改善に向けた取り組み等について検討する。	実施の予定なし	実施なし	宮城総合支所
2	児童館と連携した健康教育	児童	・児童クラブを対象として、朝食の大切さやおやつの摂り方、栄養のバランス等健康的な食生活についての講座を実施	積極的な呼びかけはしないが、依頼があれば感染拡大防止に留意して実施	実施なし	宮城総合支所
3	保育所などと連携した健康教育	乳児の保護者	・保育所地域子育て支援センターとの連携による離乳食講座（調理実習）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		泉区保健福祉センター
4	学齢期健康づくり事業	児童、保護者	・児童館や小学校と地域の健康課題を共有し、生活習慣改善に向けた教室等を一緒に企画し実施する。	随時	7月 鶴ヶ谷東小 3、4年生 68人 歯科保健部門と連携し飲み物の糖分や虫歯、甘い飲み物のとり方についての授業を実施	宮城野区保健福祉センター
5	学校保健に関する懇談会	小中学校・高校の教職員	・児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みに関する情報交換、連携方法の検討	年1回	11/29開催	若林区保健福祉センター
6	地域と共に育む子どもの健康づくり事業【新規】	幼児・児童と保護者	・幼児、児童に対して、食生活、歯と口、防煙をパッケージ化した人形劇のDVDを使用し、健康講座の実施。保護者向けパンフレット配付	7月～1月 8回実施	6児童館、1小学校、1保育園 279名実施	太白区保健福祉センター
7	児童館等における生活習慣病予防事業【新規】	児童館を利用する学童	・児童館と連携し、生活習慣病予防のために、啓発媒体の作成や、それに関するイベントと一緒に企画し実施する。	通年	通年パネル展示・すぐろく配布： 3児童館 12か月児童館だより啓発文掲載： 4児童館 クイズイベント：3児童館 計4回 139名参加	若林区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-B-10 食育関係機関、関係者の資質向上とネットワークづくりをすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会《①-B-7 再掲》	認可保育所、認定こども園、小規模保育事業施設、認可外保育施設、企業主導型保育実施施設、事業所内保育施設の食育担当者等	・情報交換会は中止とし、対象施設へのアンケート調査・情報提供	青葉区・宮総共催 対象 130施設 アンケート調査：1回	7月 130施設（内宮総管内24施設）	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	子育てネットワーク会議	保育所、幼稚園、児童館、市民センター、育児サークル、託児ボランティアグループ、社協等	・子育てネットワーク会議の中で食育の情報提供を行う 地域の関係機関との顔合わせ、啓発資料の配布（情報提供はなし）	実施方法・内容未定	9/30 3ブロックでの分散開催、 49施設参加	宮城総合支所

令和3年度 食育推進事業実施状況（令和4年3月末現在）

仙台市健康福祉局

3	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	小中学校・幼稚園・ 保育所・児童館等の 食育担当者、訪問栄 養相談員	・食育や健康づくりに関する講演、事例紹介、情報交換	年1回→新型コロナウイルス感 染症拡大防止のため中止	開催なし	若林区保健福祉センター
4	食育担当者情報交換 会《①-B-7 再掲》	保育所、幼稚園、 学校の食育担当者	・事例発表、情報提供、情報交換等の開催	新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止		太白区保健福祉センター 秋保総合支所
5	学校・保育所・地域 栄養連絡会	小・中学校栄養教 諭・栄養士、支所 栄養指導員	・各ライフステージごとの食生活の課題を共有し、地域全体の食育の推進を図る。	開催検討中	8月開催 5施設参加	秋保総合支所
6	地域子育て交流会	いずみ食育の輪、育 児サークル、育児サ ロン、のびすく泉中 央、泉区中央市民セ ンター	・「子育て応援倶楽部いずみん」における食育活動支援と情報提供 いずみおやこフェスティバルにおける食育の情報発信《①-A-2再掲》	新型コロナウイルス感染症の 拡大防止のため中止		泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代の健康づく り支援事業 《①-A-5 再掲》	専門学校の学生	・ニュースレター（NL）とホームページによる健康づくりの普及啓発	NL：年2回発行	NL配布：2回52か所	青葉区保健福祉センター
2	若い世代の健康づく り支援事業 《①-A-5 再掲》	専門学校の学生	・学校を訪問し、健康課題など状況を把握する ・リーフレットによる検診と食育の啓発	6校啓発	6校 年2回啓発媒体の送付（6 月、9月） 1699人×2回	宮城野区保健福祉セン ター
3	地域健康教育 （宅配講座）	幼稚園・小・中・ 高校生及び保護者 等	・生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等についての講話。	随時	六郷小学校・六郷中学校実施 計2回 205名参加	若林区保健福祉センター
4	若い世代の健康づく り支援事業 ①-A-5再掲	大学生等	・東北工業大学の新生を対象に「健康な食生活、歯と口の健康、防煙」等の内容を盛り込んだ総合的な健康教育の実施。 ・大学文化祭ポスター掲示、資料・レシピ集配布 ・宮城大学食産業学群1,2年生対象に食育アンケート結果を活用した啓発	・6月1回 ・11月4日実施 ・中止	・123名 ・資料・レシピ集124部配布 ・新型コロナウイルス感染症拡大 防止のため中止	太白区保健福祉センター
5	若い世代を対象とし た食育 《①-A-5 再掲》	大学生等	①食育月間に合わせ、朝食についての資料を配布。 《①-A-1再掲》 ②東北生活文化大学との連携により、若い世代向けの啓発媒体を作成し、今後の事業での啓発 に活用する	①6月 ②11～12月	①大学・短大 4校 専門学校 4校 寄宿舎 1施設 計9施設 ②東北生活文化大学 学生12名	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします						
具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	働き盛り世代の健康支援事業	児童と保護者	・市民センター，学校との連携による健康教育	随時	市民センター共催：1回7組	青葉区保健福祉センター
2	健康情報の提供	タクシー事業者 理美容組合員	・職員や顧客向けの健康情報の提供（掲示物等）	情報提供12回（うち栄養関連6回） 4月血圧、7月大腸がん予防、8月コロナフレイル、10月糖尿病、11月年末年始の過ごし方、12月新型コロナの健康二次被害に注意	年6回健康情報発信 427件 （4月：72件×1回、7月～12月：71件×5回）	宮城野区保健福祉センター
4	生活習慣改善に向けた事業	働き盛り世代	・事業所で働く方を対象とした生活習慣改善の出前講座の実施。「健康的な食生活、歯と口の健康、防煙」の内容を盛り込み、総合的な健康教育を行う。 ・国土交通省職員に食生活・運動についての講話・実技実施 ・東北工業大学教職員に食生活・防煙についての講話実施	・10月1日、4日 2回実施 ・11月4日 1回実施	・48名参加 ・103名参加	太白区保健福祉センター
5	健康づくり啓発事業	働き盛り世代	・消防団の集まり、スポーツレクリエーション大会等、地域のイベントにおける情報提供	実施未定	イベント自体が中止のため実施せず	秋保総合支所
6	生活習慣改善啓発事業	働き盛り世代	①商工会との連携による、地域の事業者及び従業員への啓発 ②働き盛り世代が集まる市民センターや地域のイベント等における啓発活動 ③衛生課との連携による区内事業者への啓発	新型コロナウイルス感染症の状況により実施未定 ③食品衛生法に基づく営業許可申請業者、理美容組合加入事業者あてに啓発資料を送付予定	①泉区の健康課題であるHbA1cについての啓発ポスターを会報9月号に合わせて送付（2000部）。また、会報9月号に特定健診についての啓発記事を掲載。 ③業種別講習会対象事業者：1200事業者 業者理美容組合加入事業者：500事業者	泉区保健福祉センター
7	地域健康教育	働き盛り世代	・商工会等団体との連携による、健康教育の実施	随時	(株)東北電気保安協会 健診後の健康づくり啓発R4.1.4 参加人数18名	泉区保健福祉センター
9	子育て世代、働き盛りに向けたイベント 《①-A-2、①-B-5に再掲》【新規】	児童と保護者	・ララガーデン長町におけるウォーキングクイズラリー 館内に健康クイズを設置し、参加者は、館内を歩きながらクイズに回答。参加者にクイズの回答と健康情報を掲載した資料等を配付 ・八木山動物公園におけるウォーキングクイズラリー ・園内に動物健康クイズを設置し、参加者は、園内を歩きながらクイズに回答。参加者にクイズの回答と健康情報を掲載した資料等を配付 ・参加者アンケート結果より作成した運動啓発ポスターを関係機関に掲示	・8月12日 ・11月28日 ・12月	・47名参加 ・798名参加 ・関係機関26施設配付・掲示	太白区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて、生活習慣病予防について学習する機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	一般市民	・町内会、地域事業所等での、生活習慣病予防などをテーマにした健康教育	随時	実施回数：10回 参加延人数：755人 個別相談：7件	各区保健福祉センター 総合支所
2	生活習慣病予防のための健康相談会	一般市民	・イベント形式で血管年齢測定及び体力測定を実施し、状況に合わせ、食生活についてのアドバイスを行う	イベント形式での実施はなし	実施なし	宮城総合支所
3	生活習慣病予防講座（高森地域連携事業）	高森地区居住者	・高森地域包括支援センター、泉区社協、仙台市健康増進センター、泉区保健福祉センター連携事業 今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため講座の開催は中止し、ウォーキングマップの作成を予定している。	意見交換会を随時開催予定	打ち合わせ：年6回 ウォーキングマップ作成、ウォーキングイベントの企画	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定保健指導	特定保健指導対象者（積極的支援）	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	8月～	延165件 （委託、区・支所実施合計）	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
2	基礎健診保健指導	基礎健診保健指導対象者	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	9月～	延29件	各区保健福祉センター 総合支所
3	生活習慣病予防教室	HbA1c要指導者	・糖尿病発症予防のための教室を個別相談会形式で実施【中止】 ・対象者に啓発資料送付	4月	資料送付413名	青葉区保健福祉センター
4	健康づくり相談 基礎健康診査事後指導	健診受診者	・受診後の相談ができる場の提供 ・食習慣改善のための講座実施	年6回実施予定（7/29, 8/24, 9/28, 10/27, 11/30, 3/22）	4件実施	宮城総合支所
5	生活習慣病予防講座 （健康づくり講座）	特定健診要指導者	・生活習慣病予防のための医師講話をオンラインで実施 ・生活習慣病発症予防のためHbA1c6.0～6.4%の方を対象として個別相談	・1月12日実施 ・9月～3月実施	・30名参加 個別相談3名 ・11名参加	太白区保健福祉センター
6	あおば健康づくり講座	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談	講座2回（10・12月） （9・2月の講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） 相談11回	講座2回 20名 相談11回 17名	青葉区保健福祉センター
7	健康づくり相談	一般市民	・健康づくりのための食生活相談	月1回（10・12・1月は月2回） 年間15回	年5回 13件	宮城野区保健福祉センター
8	健康生活講座	一般市民	・健康づくりのための食生活講話、演習	12月 骨粗しょう症事後指導講座 3月 個別情報提供	・12/15 骨粗鬆症健診事後指導講座1回 9名 ・3月 講座の代替として特定健診受診の区民のうち血糖値正常高値者及び境界型にある者を対象として啓発リーフレットを送付403名	宮城野区保健福祉センター
9	健康づくり講座、相談	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と食生活に関する個別相談	講座3回、相談10回	講座：新型コロナウイルス感染拡大により中止 相談：3件	若林区保健福祉センター
10	生活習慣改善相談	一般市民	・予約制の個別健康相談	月1回計12回実施	実26名延28名参加	太白区保健福祉センター
11	健康づくり相談	一般市民	・個別相談と講話による食生活や生活習慣改善のための支援	個別相談 月1回開設 栄養についての講話 1回	個別相談 実10件 健康づくり講話 参加者43名	泉区保健福祉センター
12	食生活・栄養相談	一般市民	・訪問、電話、来所による栄養相談	通年	訪問相談：0件 電話、来所での相談：延41件	各区保健福祉センター 総合支所
13	被災者の食生活支援	仮設住宅等入居者 →復興公営住宅等入居者	・復興公営住宅集会所、中核支えあいセンター等での食生活相談 ・地域被災者健康相談等での講話、食生活相談 ・訪問、電話、来所による食生活・栄養相談	随時	講話・相談会：開催なし 個別相談：0件	各区保健福祉センター 総合支所
14	生活習慣改善講座	健診結果で要指導の項目があった者等	・HbA1c要指導判定の者等を対象とした生活習慣病予防のための講座 →新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座を以下の事業に変更 R3年度特定健診・基礎健診におけるHbA1c要指導判定者等へ、医療機関での結果説明と健康相談の案内、血糖に関する資料を送付	随時	対象144名へ送付	秋保総合支所
15	健康相談会【新規】	ララガーデン長町来場者	・ララガーデン長町を会場とした個別健康相談	6月2日	14名参加	太白区保健福祉センター



取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます						
具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	高齢者の食生活に関する地域健康教育	一般市民（高齢者やその家族）	・町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のサロン等を対象とした、高齢者の栄養に関する健康教育	随時	開催回数：12回 参加者数：延193名	各区保健福祉センター 総合支所
2	食生活・栄養相談（65歳以上）	一般市民	・訪問、電話、来所による栄養相談	通年	訪問相談：6件 電話、来所での相談：延77件	各区保健福祉センター 総合支所
3	食生活改善推進員会における研修	宮城食生活改善推進員会	・食生活改善推進員会の研修会でフレイルや低栄養予防についての講話を行い、推進員を通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。 ・今年度は歯と口の健康づくりをテーマとした講話を実施	実施予定なし	実施なし	宮城総合支所
4	介護予防サポーター事業における健康教育	介護予防運動サポーター	・介護予防運動サポータースキルアップ研修会等で、必要に応じ健康的な食生活について支援実施 ・サポーターを通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。	宮城野 7月5日（介護予防運動サポーター養成講座） 若林 調整中 泉 フレイルに関する啓発資料を参加者に配布予定 宮総 フレイルに関する啓発資料を参加者に配布予定 秋保 実施予定	宮城野：1回14名 若林：中止 泉：実施なし 宮総：10/26 フレイル予防のリーフレット配布 30部 秋保：実施なし	宮城野区保健福祉センター 若林区保健福祉センター 泉区保健福祉センター 宮城総合支所 秋保総合支所
5	健康づくり情報提供	一般市民（高齢者やその家族）高齢者やその家族	・窓口来所者やサロン参加者等へ、フレイルや高齢者の栄養に関する資料を配布し、情報提供する	随時	健康教育にて配布 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場にて掲示、資料設置等	秋保総合支所
取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	各区ホームページの食育のページでの情報提供 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
2	健康づくり情報コーナーの設置 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイド、健康づくりサポート店、生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	庁舎内に設置 随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
3	区民まつりや地域のまつり、イベントでの啓発普及	一般市民	・健康づくりブースでの啓発普及 ・食事バランスガイドの紹介、活用方法の普及など ・クイズや演習など、媒体を活用した展示等	通年	太白区：ウォーキングクイズラリーイベントでの啓発 資料配布枚数延べ459枚  他は中止	各区保健福祉センター 総合支所
4	健康増進普及月間事業	一般市民	・健康づくりに関する講演会 ・市政だより、ホームページ、庁内放送、パネル展、資料配布等による普及啓発 ・商業施設内で関連イベントを実施（泉区）	9月 パネル展、イベント等の実施	イベント等：11回 パネル展の開催、レシピ・啓発資料配布等延べ2484枚	各区保健福祉センター 総合支所

令和3年度 食育推進事業実施状況（令和4年3月末現在）

仙台市健康福祉局

5	常備菜レシピ作成事業	幼児から高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働で作成した、常備菜レシピ集を使用したバランスの良い食事摂取についての普及啓発。</li> <li>市民センター共催の講座にてレシピの普及啓発。</li> <li>依頼のあった団体に向けて、健康教室を実施（随時）</li> <li>HP掲載</li> <li>管内専門学校への普及啓発</li> <li>当課事業（あおば健康づくり講座、母親教室）にて、講座や講話を実施</li> </ul>	市民センター共催：1回 当課事業内：5回	市民センター共催：1回6組 当課事業内：5回25名 レシピ集配布：177冊	青葉区保健福祉センター
6	被災者向け健康情報紙の発行	復興公営住宅居住者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養・健康情報、レシピなどを掲載した被災者向け健康情報紙を作成し、復興公営住宅等に配布する</li> </ul>	8月 1回	511部配付	太白区保健福祉センター
7	健康政策課Facebookページの開設 《①-A-1再掲》	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康政策課Facebookページ「伊達なキッチン-だてきち」で、食を中心にした健康情報や簡単レシピなどを発信する</li> </ul>	毎週水曜日に記事を配信 その他イベント等に合わせた情報を随時配信	アクセス数：3712回 投稿回数：49回	健康福祉局
8	健康お役立ちレシピコンテスト	一般市民 市内学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民（または市内に通学する学生）が考える健康を意識したレシピを募集し、優秀作品を表彰する。R3年度は「よく噛んで食べよう」早食い防止の野菜しっかり副菜レシピ部門と「しっかり食べても塩eco」塩分控えめの主菜部門で実施。</li> <li>優秀作品をまとめたレシピ集を作成し、市民に配布する。</li> <li>健康政策課Facebookと連動し、優秀レシピを発信する。</li> </ul>	募集期間：9月15日～12月20日 表彰日：2月28日	応募作品 副菜レシピ：42 主菜レシピ：27 最優秀賞2名、優良賞2名、特別賞6名を表彰 レシピ集は令和4年度に配布予定	健康福祉局
9	出張！健康情報お届け隊【新規】	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城野区中央市民センターと連携し、市民センターを会場に生活習慣病予防・健康づくりなどについてのパネル展・資料配布を実施する。</li> </ul>	年2回	6月、9月	宮城野区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食で健康サポート店推進事業	一般飲食店、給食施設、食料品等販売店 一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養成分表示、バランスメニュー、野菜たっぷりメニュー、塩エコ（塩分控えめ）メニューのいずれかを提供する店舗（食で健康サポート店）の登録を推進</li> <li>登録店舗向けに、健康情報を発信</li> <li>市政だよりにて食で健康サポート店を市民に周知、栄養成分表示等の活用方法などを啓発（泉）</li> <li>庁舎内デジタルサイネージを利用し市民へ周知、登録店の紹介（青葉）</li> </ul>	通年  3月（泉） 3月・4月（青葉）	登録店舗数：86店舗 PR件数：1件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
2	「モーベジ！」を活用した啓発 《①-B-2に再掲》 【新規】	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育推進事業の標語「モーベジ！」を活用し、朝食と野菜摂取を各種事業で啓発（幼児健診、離乳食教室等）モーベジガイド、モーベジレシピ配付（HPでも公開）</li> <li>ララガーデン長町飲食店と連携し、各店舗野菜メニューに栄養情報を掲載して、ポスター掲示</li> <li>ララガーデン長町における秋保ビレッジマルシェにてモーベジポスター掲示、レシピ配布</li> </ul>	通年  ・10月16日～31日 ・10月～12月 3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>モーベジガイド 289部、モーベジレシピ 184部配付</li> <li>協力飲食店12店舗</li> <li>325部配布</li> </ul>	太白区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子供の食育講座	乳幼児 小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館・児童センターと共催により、食育講座を通して、望ましいおやつのとおり方を学ぶ。</li> </ul>	将監児童館 1月11日 1回	参加者3,4年生10名	泉区保健福祉センター

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育月間、みやぎ地区まつりでの紹介	一般市民	・地域の食材を使用した料理の紹介 ・レシピ配布	月間中の健康教育実施なし	実施なし	宮城総合支所
2	子育てについてのイベントでの情報発信	子育て中の保護者とその子ども	・「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信《①-A-2再掲》 郷土料理、手作りおやつを紹介等	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止		泉区保健福祉センター
3	せんだいTube、太白区チャンネルの情報発信《①-A-1再掲》【新規】	子育て世代	・地域の食材を使用した地元料理紹介動画をせんだいTube、太白区チャンネルで発信	通年	動画視聴回数せんだいTube 146回 太白区チャンネル 507 食育動画啓発ポスター小規模保育事業所23施設、太白区保育所10施設に配付 リーフレット1,822部配付	太白区保健福祉センター
推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう						
取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	122件実施 (各区保健福祉センター、食品監視センター、食肉衛生検査所)	健康福祉局 経済局 各区保健福祉センター
2	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発	一般市民、食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館4,000部 パンフレット2種、計8,700部 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター 宮城総合支所
3	ホームページによる食品衛生情報の提供	一般市民、食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
4	食品の安全性に関する講演会の開催	一般市民	・食品の安全性に関する講演会の開催	令和4年1月開催予定	新型コロナウイルス感染拡大防止のため講演会の開催中止	健康福祉局 各区保健福祉センター
5	食品の安全性に関する講習会の実施	一般市民	・市政出前講座（担当テーマ：安全・安心の食生活）における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施	申し込みの都度	市政出前講座：2回、25名 市民向け食品衛生講習会：21回、170名	健康福祉局 各区保健福祉センター
6	食品の安全性等に関する相談対応	一般市民	・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応	随時対応	随時対応	健康福祉局 各区保健福祉センター
7	せんだい食の安全サポーター制度	せんだい食の安全サポーター	・せんだい食の安全サポーター会議における食品衛生情報の提供	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在宅型研修実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、在宅型書面研修4回実施	健康福祉局 各区保健福祉センター
		せんだい食の安全情報アドバイザー	・食肉まつりにおける食品衛生普及啓発活動	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食肉まつり中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食肉まつり中止	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ⑤-A-2 食品の安全性確保のための監視指導を行います						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食施設巡回指導	特定給食施設 条例に基づく給食 施設	・健康増進法に基づく特定給食施設、条例に基づくその他の給食施設に対する、栄養管理、衛生管理指導	通年	特定給食施設：6施設 その他の給食施設：10施設	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品衛生監視指導計画の策定と実施	食品等事業者	・食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施	通年	37,212件	健康福祉局 各区保健福祉センター
具体的な取り組み ⑤-A-3 食品関係業者に向けて食品の安全性に関する情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページによる食品衛生情報の提供 《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	食品等事業者	・ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	随時実施	100回, 5,980件	健康福祉局 各区保健福祉センター
3	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館4,000部 パンフレット2種, 計8,700部 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター
具体的な取り組み ⑤-A-4 食品関係業者を対象に食品の安全性に関する講習を行います						
	事業名	対象者	実施内容	実施予時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品等事業者に対する衛生講習会の実施	食品等事業者	・食品等事業者等に対する衛生講習会の実施	随時実施	業種別講習会等 47回, 1,627名 食品衛生責任者講習会 26回, 2,105名	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品等事業者経営者セミナーの開催	食品等事業者	・食品等事業者経営者セミナーの開催	令和3年9月実施予定	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、セミナーの開催中止	健康福祉局 各区保健福祉センター
取り組みの方向性 ⑤-B 食品表示の知識を普及し、食品の選択への活用をすすめます						
具体的な取り組み ⑤-B-1 食品表示の知識を広く発信し、活用法を知る機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品表示の知識普及、活用の推進	一般市民	・健康教育、食育講座および健康づくりや食育に関するイベント等において食品表示について知識の普及啓発の実施	通年	出前講座、宅配講座等での啓発 9回 参加者数314名	健康福祉局 各区保健福祉センター